

トノサマガエル

2019/06/30

特定外来生物のウシガエル（特定外来種）捕獲用の罠に色々な物が入ります。その結果色々な事が分かります。今まで捕獲した種は、アメリカザリガニが圧倒的に多いのですが、それ以外に、クサガメ、ミシシippアカミミガメ、マムシ、ヌートリア、等でした。クサガメは塚の杣池でマーキングされたものが尾根を二つ越えてやってきたことが分かりました。ミシシippアカミミガメは5 cm未満、未だかわいい大きさのみです。6月23日トノサマガエルがかかりました（リリースしました）。

トノサマガエルは「レッドデータブックなごや 2015」で名古屋市の絶滅危惧Ⅱ類、環境省の準絶滅危惧種になっています。名東区はトノサマガエルの空白区になっており、猪高緑地でも目撃情報は全くありませんでした。

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000076/76710/160122-rdbn2015a-5-ryoseirui.pdf>

田んぼが放棄されてからも細々と生き残っていたのか、長久手側から移動して来たのか、誰かが連れてきたのか、分かりませんが、ここにはトノサマガエルが生息できる自然が残っていると思います。繁殖期や幼生の時期にハビタットが重なるウシガエルもコントロール状態になりつつあります。今後の推移に注目です。

